2003 年度 委員会活動成果報告

（2004 年 3 月 27 日作成）

委員会名	高齢者の温熱環境と健康 WG	主 査 名：五十嵐由利子
所属本委員会 **（所属運営委員会）**	環境工学委員会（企画刊行小委員会）	委員長名：鉾井修一（吉野博）
設 置 期 間	２００１年　４月　　～　２００４年３月	
設 置 目 的 **各年度活動計画**	**〔設置目的〕** 環境工学委員会熱環境小委員会「高齢者居住施設熱環境 SWG」では、高齢者居住施設における高齢者の温熱環境についてアンケートや実測を行い、その一部についてはシンポジウム等で公表してきた。これらの成果を刊行し、建築関係者をはじめ、福祉コーディネータや介護者等が広く利用できるようにする。 **〔各年度活動計画〕** 初年度(2001 年度)は、目次案を作成して担当者を決め、執筆作業に入る。 ２年度(2002 年度)は、原稿をもとに出版社との交渉を行い、出版社を決めると共に、脱稿、刊行する。 本来２年で終了する予定であったが、委託する出版社の決定に時間を要したため、設置期間を１年間延長した。 ３年度(2003 年度)は 2003 年５月脱稿、12 月刊行を目標として活動した。	
委員構成 **（委員名（所属））**	主査：五十嵐由利子（新潟大学） 幹事：橋本修左（武蔵野女子大学） 委員：安藤邑恵（横浜市立大学） 大渕律子（三重大学） 北原博幸（トータルシステム研究所） 委員：高橋啓子（愛知江南短期大学） 都築和代（産業技術総合研究所） 栃原裕（九州大学） 梁瀬度子（武庫川女子大学）	
設置 WG **（WG 名：目的）**	高齢者の温熱環境と健康 WG	
2003 年度予算	130,000 円	

項　　目	**自己評価**
委員会活動状況 **（開催日・参加人数）**	第１回 WG（2003 年 5 月 2 日）参加者：委員６名、出版社２名 第２回 WG（2003 年 8 月 29 日）参加者：委員７名、出版社１名
得られた成果	**（成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無）** 本年度第１回 WG にて脱稿した。 脱稿により出揃った全体の文章をもとに、再度各担当者が原稿を修正し、本年度第２回 WG にて、出版社の担当者を交えて原稿内容を再検討した。 高齢者の居住環境に関するアンケート調査・実測調査などの実態調査結果や、介護事例など、高齢者施設の温熱環境に関する多くの実例も掲載しており、本書は建築設計事務所や工務店など建築関係者のみならず、福祉コーディネータ、ホームヘルパーや看護士など、介護・医療関係者にも有用な参考書と成りうると考えられる。 担当出版社（技報堂出版）の販売戦略により、刊行を 2004 年８月とし、現在、最終調整作業を進めている。
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	**（当初の活動計画と得られた成果との関係）** 脱稿時期については、ほぼ本年度計画通りであったが、出版時期については、出版社の販売戦略の関係で、本年度計画より半年ほど遅れた。 既に出版社の出版・販売計画にも盛り込まれており、WG としては本年度当初の目標はほぼ達成できたと考える。
その他評価すべき事項	生理学・看護学を専門とする研究者も委員とすることで、医療・介護の視点から建築および建築環境工学のあり方を検討することができた。